

# 留学体験レポート

国際学部2年 南波くれあ

## 1. はじめに

私は8月から12月までの間、アメリカ・ミズーリ州のWarrensburgにあるUniversity of Central Missouri (UCM) に留学してきました。留学の目的は4か月間自分の慣れ親しんだ国を離れて暮らし、英語力の向上はもちろん多文化理解を深めるためです。このレポートでは私が実際に現地で体験したことや、感じたことを述べていきます。

## 2. アメリカでの生活について

アメリカでの4か月間は学校の敷地内にある寮で過ごしていました。私たちの場合、国際情報大学から一緒に留学した人と2人1組になって部屋を共有していました。またトイレやお風呂を共有するスイートメイトも国際情報大学から一緒に留学した人達だったので掃除のルールや役割分担など、生活するうえでの共通のルールを決める際の苦労はなかったです。また、みんなと共同で使えるハンドソープやトイレットペーパーなどの日用品は大学の近くにあるスーパーで大きめのサイズを購入し割り勘をしていたので無駄に買うことなく4か月過ごすことができました。食事は寮の近くにダイニングがあり、私たち留学生は学生証があれば3食バイキング形式で食べることができます。しかし毎日同じメニューなので飽きた時はスーパーで買ったカップラーメンや学校内にあるピザ屋さん、寿司などを食べていました。これらを買う際には自分でお金を払わなければいけないので生活費を抑えたい人はダイニングで毎日食事することをお勧めします。

## 3. 授業について

授業は基本的に1コマ50分で行われます。日本の大学の90分に比べるととても短く1時間1時間しっかりと集中して取り組むことができます。私たちが受ける授業はEnglish Language Institute(ELI)と呼ばれる各国からの留学生が集まって授業を受けるクラスです。クラスは最初に行われるテストで学力レベル別にクラス分けされます。自分のレベルにあったクラスで授業が受けられるため、確実に英語力はつくと感じました。また他の国の人もいたので異文化の体験もできました。自分のレベルにあっているクラスとはいえ、授業はもちろんすべて英語で行われるため慣れるまでは授業についていくので必死でした。また課題もたくさん出るため、課題に追われる日もたくさんありました。

## 4. Thanksgiving について

9月末にアメリカの感謝祭としてThanksgiving breakが1週間あります。私はその1週間を利用して友達とNew Yorkに行きました。New Yorkでは自由の女神を見たり、ロックフェラーセンターから夜景をみたりブロードウェイミュージカルでアラジンを見たりしま

した。New York は私たちが滞在した Warrensburg に比べると治安が悪く、ホームレスの人も何度か見かけました。ホームレスの人は時々話しかけてくるので無視するのが一番です。また中にはアジア人をよく思っていない黒人の人がいて、私や私の友達は首をつかまれそうになったり、あとをつけられたりしたので人気のないところに行かないようにしたり、あまり派手な格好をしないことをお勧めします。少し怖いところもありましたが、基本的に現地の人は優しいので大丈夫です。New York での体験は私にとってとてもいい勉強になったと思います。

## 5. おわりに

私はこの4か月間で学んだことがたくさんありました。慣れない環境で生活する大変さ、言語の違う他国の人とのコミュニケーションの取り方、時にはつらいこともたくさんありましたが現地の先生はとてもやさしく、私を助けてくれました。日本にいる家族や友達も電話で励ましてくれました。4か月間で一番強く思ったことは、自分は恵まれているなということです。私を一番に応援してくれている家族や友達を大切にしようと思ったのと同時に、この4か月間の経験をこれからの人生に生かしていきたいと思いました。